

低栄養虚弱高齢者におけるリハビリテーションの考え方と介護ケアへの活かし方

高齢者は今後も増え続け、2042年にピークを迎えるといわれています。これに伴い、虚弱高齢者及び要介護高齢者も増加し、社会保障費も増えていくと予想されます。社会保障費をおさえていくために、フレイル・サルコペニア・ロコモティブシンドロームを早期解決していくこと、予防していくことは極めて重要なこととなります。

高齢者が低栄養の状態になること（重度化を含む）を防ぐために、国は予算化し、その対策に力を入れています。市町村レベルでも、低栄養改善事業と銘打ち、栄養状態の改善や重症化を防ぐための取り組みを実践しています。

事業所において、低栄養の虚弱高齢者に対して、どのような考えでリハビリテーションを行えばよいのか、また介護ケアを行えばよいのか、をわかりやすくお伝えします。

フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームなど最近では聞きなじみの言葉ですが、それらに関する本質的な理解、低栄養がなぜ介護現場では問題になるのか、ケアスタッフができる栄養状態チェックなど、基礎的な内容を幅広く学んでまいります。

- 内容 ・フレイルとは ・サルコペニアとは ・ロコモティブシンドロームとは
 ・フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの違い ・低栄養とはどんな状態か
 ・なぜ低栄養が介護現場で問題になるのか
 ・誰でもできる栄養状態のチェック方法（アセスメント）
 ・栄養とリハビリの関係性 ・低栄養でリハビリをしても逆効果
 ・栄養状態の把握から介護ケアへの活かし方 ・症例別事例紹介（※若干内容変更あり）

●講師：井上直樹（いのうえ・なおき） 合同会社 Relate（リレイト）代表社員／理学療法士
 ／福祉住環境コーディネーター2級／福祉用具専門相談員

介護職員として通所リハビリ・通所介護にて勤務をしながら、夜間の学校に通学して理学療法士免許を取得。取得後、急性期・回復期病院、整形外科クリニック、在宅療養支援クリニック、一般ベンチャー企業の勤務を経て、合同会社 Relate を設立。リハビリ専門コンサルティングや介護シューズの企画開発、通所介護事業者向け個別機能訓練業務支援ツールの代理販売などを手掛ける。一般の方や介護に関わる方へ向けたブログも運営し、情報発信を行っている。新聞・雑誌・WEBなどのマスメディア、WEBメディアへの掲載多数

日 程 2019年 9月20日 時間 10:00~16:00

受講料 10,800円

会 場 お茶の水ケアサービス学院 東京都千代田区岩本町 1-10-3 神田駅徒歩 10分

対 象 どなたでも受講可能

申込方法 ファックスでのお申込になります。受付後確認のファックスを致します。

支払方法 受講案内を送付致しますので、受講案内が届いた後お振込み願います。

主 催 お茶の水ケアサービス学院 03-3863-4000

ネット配信サービス加入者は半額で受講可

ファックス 03-3863-4006

お名前	フリガナ	役 職	ネット配信 加入の有無	有・無
		事業所名		
住 所	(〒 -) (事業所 ・ 自宅)			
TEL		FAX	e-mail	

※お申込後（申込日を1日目とします）、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額のキャンセル料がかかります。また、申込日にかかわらず、9/6以降のキャンセルは、受講料の全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。